

大腸癌(進行・再発) 2nd Line

# FOLFIRI+Aflibercept療法

患者ID: @PATIENTID ( )コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース14日。 DAY 1に点滴開始。初回49.5時間。

投与基準: class A (2回目以降class B)

- ※ 治療前に腫瘍内科にて治療適応の確認(症例検討)を行うこと。
- ※ アフリベルセプト添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。
- ※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。
- ※ 必要に応じてUGT1A1遺伝子多型検査を考慮すること。
- ※ 原則、埋め込み式ポート挿入後は1週間以上、腹部手術前後は6週間以上空けて投与すること。

《使用薬剤》

アフリベルセプト ベータ: (アフリベルセプト) 100mg/4mL、200mg/8mL  
 イリノテカン (CPT-11): イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg/2mL/V、100mg/5mL/V  
 レボホリナート (I-LV): レボホリナート 25mg、100mg/V  
 フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)
アフリベルセプト	4 mg/kg	#VALUE!	
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	
フルオロウラシル(急速)	400 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	
フルオロウラシル(持続)	2400 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

1月1日 (金)

① 側管

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 13.2mg  
15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 100mL + アフリベルセプト注 mg  
0.2µm のフィルター一体型輸液セットを使用する  
1時間で点滴静注

0.0 mL

1時15分 ③ 生理食塩液 250mL + イリノテカン注 mg  
④と同時に開始し、90分で点滴静注

0.00 mL

④ 生理食塩液 250mL + レボホリナート注 mg  
側管から③と同時に開始し、2時間で点滴静注

3時15分 ⑤ 生理食塩液 40mL + フルオロウラシル注 mg  
全開(15分以内)で急速静注

0.00 mL

3時30分 ⑥ 生理食塩液 50mL  
フラッシュ(終了後材料を除去)

3時35分 ⑦ 生理食塩液 140 mL + フルオロウラシル注 mg  
トレフューザーポンプで46時間持続投与

0.00 mL

1月3日 (日) 1:35 頃 点滴終了後、ヘパフラッシュを注入し、抜針する

REFERENCE

Josep Taberero, Eric Van Cutsem, Radek Lakomy, et al: Eur J Cancer (2014)50, 320-331  
 Aflibercept versus placebo in combination with fluorouracil, leucovorin and irinotecan in the treatment of  
 previously treated metastatic colorectal cancer: Prespecified subgroup analyses from the VELOUR trial  
 2017年9月度化学療法プロトコール審査委員会承認: 2017年9月11日